

あらよう通信

熊本県立荒尾養護学校
特別支援教育
センターだより No.5
平成21年3月2日

発達障害児を支える～求められる大人の対応～ 有明成仁病院 木通めぐみ先生講演会より

1月29日(木)荒尾養護学校の校内研修会において、有明成仁病院小児科の木通めぐみ先生に御講演をいただきました。1時間という限られた時間の中で、とても中身の濃いお話をしていただきました。ここでほんの一部ではありますが紹介させていただきたいと思います。

1. 重大な学校役割

- ・特別支援学校の役割の拡大(センター的機能)
- ・子どもは多くの時間を学校で過ごす
- ・学校こそが社会である

2. 発達障害児教育に期待されること

- ・自尊心を保ち、自己の能力を最大限に発揮して社会に貢献し、人生を楽しみつつ生きていくスキルを育てる。
- ・障害者を支える一般市民を育てる
- ・信頼協力関係により家族の育児力を育てる

3. まずは障害特性理解

- ・発達障害には指導者が繰り返し確認しておくべき、認知特性がある。

4. 発達障害の特性

- ・自閉症スペクトラム(広汎性発達障害)
ソーシャルスキル・コミュニケーションスキル・想像力の障害など
- ・ADHD...不注意・多動、衝動性
診断がなくても問題に気付けばスタートはできる。診断を指導にアレンジするのは教育者の役割である。

5. 発達障害児といじめ

- ・いじめ対策の重要性...いじめは絶対悪が基本
- ・発達障害児はターゲットになりやすい
- ・陥りがちな誤った考え
 - ×卒業(進級)まで待とう
 - ×突飛な言動、偏った関心を変えればなくなる
- ・いじめ防止対策について

地域連携の取組

1/16 玉名市実務担当者会
1/20 荒尾市実務担当者会
1/22他荒尾市地区コネクター会議
2/4 長洲町地域連携協議会

2/24 荒尾市地域連携協議会
(巡回相談)
1月 有明小・玉水小・清里小
2月 緑ヶ丘小・平井小
荒尾第一小・山北小

2月 みのり保育園
荒尾めぐみ幼稚園
シオン園保育所
カンガルー保育園
(研修支援)
1月 小天東小



か 課題分析 task analysis

学習目標とする一連の複雑な行動からなる活動(課題)を構成するより細かな行動単位に分け、その手順を整理し、時系列的に記述すること。課題分析により、一連の行動のどの段階でつまづいているかを明らかにすることができ、最終的な課題達成に必要な指導や支援の方法を段階的に考えて聞くことが可能となる。

き 鏡映書字 mirror writing

文字を書くことに興味を持ち、書きはじめた幼児は、“し”や“く”のように左右逆になりやすい文字を、左右逆に書くことがある。鏡に映したように左右逆になることから、鏡映文字といわれる。就学前後になるまでには正しく書けるようになることが多い。視空間認知に問題があったり、左右の関係の把握の困難なLDの疑いがある子どもには、この鏡映文字が多く見られたり、改善しにくいことがある。文字を書くことを覚え始めた段階での経過を詳しく聞くことが必要。

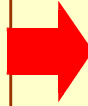
コラム No.5 ~ 子ども理解と支援 ~

文字を書くことが苦手な子どもへの支援

1. 一生懸命書いても、文字の形がとれず書き間違い

(鏡映文字、「く」「へ」など似ている文字の書き間違い)

- ・形の違いを区別するのが苦手。
- ・文字の形を記憶できない。
- ・目と手の協応がうまくできず、細かいところに注視できない。

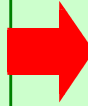


- ・線や形のなぞり書きや塗り絵を通して形を意識させる。
- ・大きめの文字の手本で練習する。
- ・書く部分を色づけし、注視しやすくする。手を添えて一緒に書く。

2. 細かいところに注意して書けない

(ノートの文字がマス目からはみ出す、漢字の細かいところに注意して書けない)

- ・マス目のどこに書いたらよいか分からない。
- ・目と手の協応がうまくいかずはみ出してしまふ。

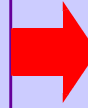


- ・ノートのマス目を大きくする。マス目の中心に線を引き、書く位置を意識しやすくする。
- ・へんやつくりに分けて覚える。「公はハムと書く」など

3. 黒板の文字を書き写すことが苦手

(板書をしようとしなない、書き始めても途中で止めてしまう)

- ・板書のどこを見たらよいか分からない。
- ・黒板を見てノートに目を移すまで記憶してられない。



- ・書く量を減らし、負担感を軽減する。
- ・前もって板書と同じプリントを用意しておき、ノートの横に置いて、見ながら書いてもいいことにする。

4. 作文が書けない

(話ができるが、作文にすることができない)

- ・出来事を想起できない。
- ・文字を書くこと自体が苦手。
- ・文章の構成ができない。



- ・質問に答えながら書くことで、出来事を思い起こしやすくする。
- ・()に穴埋め式に書くことで作文に慣れる。

筆順とか「とめ・はね」など細かいことより、書こうとする意欲を育てることが大事です。比較的よく書けた部分に注目させ、達成感を持たせたいところです。

~ 書籍案内 ~

「のび太・ジャイアン症候群 いじめっ子、いじめられっ子は同じ心の病が原因だった」

のび太・ジャイアン症候群
いじめっ子、いじめられっ子は同じ心の病が原因だった



司馬理英子 著 主婦の友社
1575 円

ADHD(注意欠陥・多動性障害)を日本にはじめて本格的に紹介し、全国に大きな反響をもたらした話題の本。いじめ、不登校、非行の根底には、この障害が潜んでいることが多い。(シリーズ化され、6作ほど刊行されています。)

熊本県立荒尾養護学校

〒864-0032

荒尾市増永西長浦2299-3

(TEL) 0968-62-1131

(FAX) 0968-69-1064

ホームページアドレス:

[http://www.edu-c.pref.](http://www.edu-c.pref.kumamoto.jp/sh/araoyogo)

[kumamoto.jp/sh/araoyogo](http://www.edu-c.pref.kumamoto.jp/sh/araoyogo)

メールアドレス:

arao-y@bears.ed.jp

担当者: 甲斐原 巖

